

# 思い出語り相互理解

寄宮中2年2組  
いじめ防止授業  
写真使い生徒発表

学校現場でのいじめ問題に全国で関心が高まる中、いじめについて考える道徳授業が12日、那覇市立寄宮中学校（川満順一校長）で開かれ、同校の2年2組と全教職員が参加した。授業では、生徒一人一人が「思い出に残るもの」をテーマに選んだ写真を発表した。

旅行先、学校行事、家族、部活動の様子など、一枚をそれぞれ紹介。選んだ

理由や撮影したときの様子などを熱心に説明した。小3から中1まで使ったクラブの写真を発表した長嶺有馬君（14）は「グロープには勝ったときや負けたときの涙が詰まっているので選んだ。授業ではみんなの知らない一面を知ることができた」と笑顔を見せた。黒島彩さん（14）は「私の

写真は楽しい思い出だったが、悲しい思い出の写真もあった。人の思い出は楽しいものだけではないとあらためて感じた」とクラスメートの発表を振り返った。授業を企画した又吉啓貴教諭は「教科書などの既存の教材を使うよりも生徒個人の価値観や考え方が分かるように、写真を教材にした。身近な他者を理解すれば、いじめ防止につながるはず」と狙いを語った。川満校長は「学校として子どもたちの心に向き合うために授業を企画してもらった。この授業を各学級担任に生かしてもらいたい」と話した。

（2012年10月19日 13面）

☆自分の性格のことや得意、苦手なことなど互いに教え合ってみよう。

☆いじめをなくすためにクラス全員で取り組めることは何か話し合ってみよう。



思い出のある1枚を紹介する生徒＝12日、那覇市の寄宮中学校

